

## 2. 区全域計画

区全域計画とは、区全体の方針を示し、区民一人ひとりから、団体・関係機関が区全域で進めていく取組をまとめたものです。区役所・区社協・地域ケアプラザが中心となり課題解決に向けて進めていく取組や地区別計画の活動を支える取組、地区を超えて広域で活動する団体の取組などが位置付けられています。基本目標Ⅰ・Ⅱ・Ⅲは計画すべてに共通するものですが、区全域計画の項目で詳しく示します。

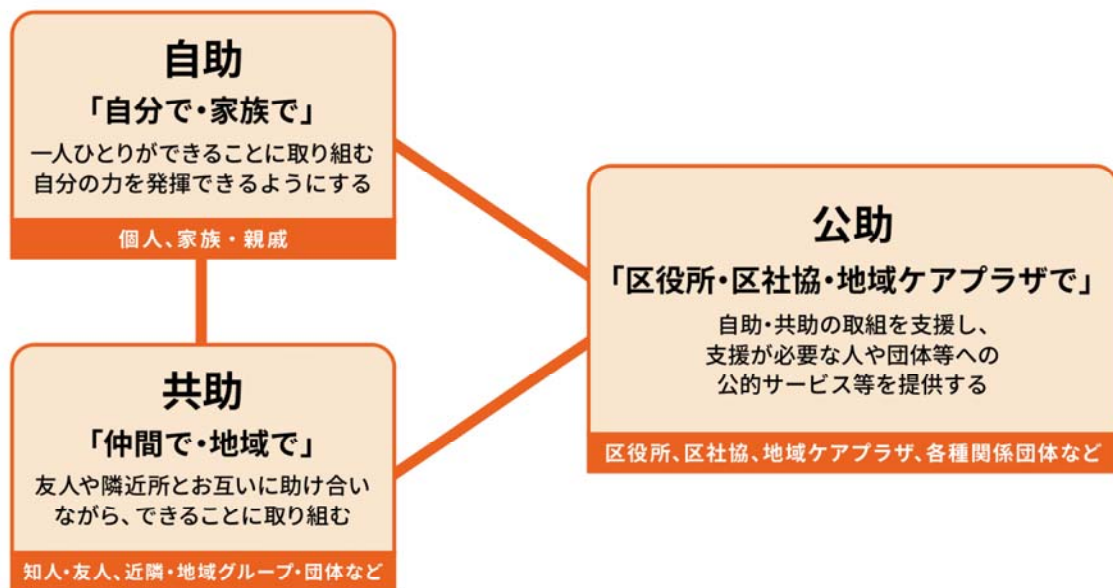
### ■区全域計画の特徴

**ポイント①** 基本目標Ⅰ・Ⅱ・Ⅲは、区全域計画と地区別計画共通の目標です。  
目標をイメージしやすいよう、それぞれに「めざす姿」を示しました。

**ポイント②** この計画は、基本理念にもあるように「みんなで」進めていくものです。そこで、基本目標ごとに「自助」「共助」「公助」の3つの主体に分けて、具体的に取組む内容を整理しました。

※実際には明確に主体が切り分けられないものや、相互に関わりながら進められるものもありますが、ここではわかりやすいように分けて整理しています。

#### <スイッチON 磯子「自助」「共助」「公助」の考え方>



### ■各公的機関の役割

**区役所** 区全域の取組について、庁内各課の専門性を生かしながら総合的にサポートします。

**区社協** 地区社会福祉協議会(以下、地区社協)などの地区ごとの取組の推進はもちろん、様々なネットワークを生かし、各種団体や関係機関とともに区全域に関わる取組を進めます。

**地域ケアプラザ** 「地域の身近な福祉・保健の拠点」として、福祉活動のネットワークづくりや住民主体による支えあいのある地域づくりを支援します。

※ 公助については3者(区役所・区社協・地域ケアプラザ)を中心に記載していますが、計画の推進にあたっては、様々な関係機関や団体と一緒に連携しながら進めていきます。(P.57～P.60参照)

# ■区全域計画のページ構成

**基本目標！ 共に支えあうお互いさまのまち**

**みんなが地域とつながり、助けあえる**

- ・普段から顔見知りの関係があり、いざという時に支えあえる
- ・ときに支え、ときには支えられるというお互いさまの関係性がある
- ・さりげない見守りの中で安心して過ごせる
- ・支えあいの仕組みがある
- ・安心して子育てできる地域をつくる

**自分・家族で【自助】**

- ・自分が困ったときは、困っていることを誰かに伝えてみる。
- ・備品を準備する等、災害時やいざというときに備える。

**仲間・地域で【共助】**

**お互いさまの助けあいを行動する**

- ・困っている人がいたら、何かお困りですかと声をかけてみる。
- ・自分でできる範囲の手助けをする。
- ・自分で解決できないことでも、相談機関や地域の人がつなげて解決してみる。

**人と人の出合いのきっかけをつくる**

- ・地域で顔見知りになれるきっかけをつくる。
- ・顔見知りになり、ちょっとした話を話せる関係をつくる。

**2階に住んでいた子どもの足音が最初は「うるさいな」と思っていたが、顔見知りになってからは「今日も元気な走り回っているな」と思えるようになった！**

**支えあいや見守りの仕組みをつくる**

- ・気になっていることを話し合える場をつくる。
- ・支えが必要なお手助けができる人とつなげる仕組みをつくる。
- ・支えあいや見守りの大切さを共有し、一緒に考えたり実行したりする仲間を増やす。

**目標が実現している状態を「めざす姿」としてまとめました。**

**わたしやあなた、家族でできることの例です。まずはここから考えてみましょう！**

**友人や隣近所、同じ思いを持った地域の仲間、団体、企業などで取り組むことの例です。みなさんが所属する地域や団体、仲間同士で話し合ってみてください。**

**自動・共助の取組事例**

**大好きな高齢者ふれあいサロン みんなと会いたくて・・・**

町内会館で毎月開催しているふれあいサロン。毎回おしゃべりを楽しみに通っているAさんは、足を怪我して入席してしまいました。みんなが心配していたところ、Aさんは退席後すぐにサロンにやってきました。どうしてもみんなに会いたくて、自宅から100mの高層マンションに集って来たので、2人はメンバー2人でAさんの両脇を挟んで歩けることができました。Aさんが来てくれたことが他のメンバーにとってもうれしいことでした。

**「安全・安心家族カード」や防災訓練でひと工夫、災害時にも助けあえる関係性をつくりたい**

ある自治会では「安全・安心家族カード」を毎年集めて、防災訓練時や災害時にも活用しています。防災訓練では「安全・安心家族カード」を配布して、災害時にも助けあえる関係性をつくりたいと、防災訓練でも活用しています。

**実際の地域の中での取組事例を掲載しました。**

**ちょっとした困りごとを助けあいで解決**

ある地域では、地域ケアプラザを拠点として高齢者等のために手作り弁当の配達を行っています。メンバーは毎月色々なお宅を訪問するうちに、しりやお出掛けの行き先も覚えていき、ちょっとした困りごとを察知して対応できるようになりました。ここで、メンバーと地域ケアプラザで話し合い、助け合いグループを立ち上げることに決めました。お弁当配達メンバーを中心に口コミで広がり、名前がまわり、その後メンバーも増えていきます。みやすいように1回500円の有料としました。年齢層に対応するための基本ルールはありますが、相談し合っていて決めています。活動しているうちに色々とお見えてくるものもあり、暮らしに行ったらお宅の人が最初はそっけなかったのですが、時間をかけて会話をしていくとその方の気持ちに触れることができるようになり、コミュニケーションの大切さも実感しました。

**普段の子どもの関わりから学習支援へ**

中学生向けの学習支援事業に携わっていたボランティアさんの中には、これも学習でも子どもと関わる機会がある人もいました。そんな中で、学習のつまづきを少しでも少なくするには、もっと早い段階から支援をする必要があると気づき、現在の事業ではお見えない小学生高学年の子どもが実現する学習支援事業をやりたい、という声が出ました。地域ケアプラザなどを巻き込みつつ、同じ思いを持つ人を集め、話し合いを重ねてボランティアによる学習支援グループが立ち上がりました。

**区役所・区社協・地域ケアプラザで【公助】**

**地域ぐるみつながり、助けあいの仕組みづくり**

**区役所**

- ・地域支えあい事業などを通して、地域で活動する方の支援や、支えあい活動の推進に取り組みます。
- ・各部署との関係者が集まり、地域の様々な情報や課題についての仕組みづくりに取り組んでいきます。

**区社協**

- ・ボランティアや地域活動に参加したい人、してほしい人をつなぐ。
- ・フードドライブや善意銀行などの活動を通して、金品の寄付や物々交換の機会を準備します。
- ・地区担当者が地域に出向き、支えあい活動の推進に共に取り組む相談を、地域と共に解決につなげる働きかけを行います。

**地域ケアプラザ**

- ・自治会町内会、地区社協や様々な団体と連携し、支えあいの仕組みづくりを行います。
- ・身近な地域での小さな困りごとなど、お互いに助けあえるようなボランティアグループの立ち上げをするなど仕組みをつくっていきます。

**目標に合わせてカテゴリ分けをしました。**

**区役所、区社協、地域ケアプラザの3つの公的機関が、関係機関や地域のみなさんとともに取り組むことをまとめました。公的機関の役割には、上記の「自動・共助の取組事例」を下支えする役割もあります。**

**ぜひ、あなた自身や、あなたの属する地域や団体をイメージして、一緒に何ができるかを考えてみてね**

**ON!**

**取り組み内容・事業例**

**★配食ボランティアの支援**

地域ケアプラザでは、調理室の貸出のほか、日々の活動を支援し、支えあいの取組を支援します。

高齢者等にお弁当を届けているNPO法人や地域のボランティアグループ同士が情報交換や学習する機会を提供します。

**具体的なイメージが付きやすいよう、取組や事業についても掲載しています。**

**区役所・区社協・地域ケアプラザについては、共通するものもありますが、それぞれの強みを生かした取組や事業を掲載しています。**

1  
2  
3  
4

第4期磯子区地域福祉保健計画「スイッチON磯子」